

平成25年第9回中津川市教育委員会議事録（要旨）

日 時 平成25年8月28日（水） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 田島 雅子 小幡 隆徳 横井 晃

松田 幸博 大井 文高

事務職員 山内事務局長 原文化スポーツ部長
岩久教育次長兼学校教育課長 大塚教育企画課長
岡本子育て支援対策監兼幼児教育課長
今井文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
嶋倉教育研修所長 幸脇阿木高等学校事務長
辻発達支援センターつくしんぼ所長 田島発達相談室長
山下子育て政策室長 早川鉱物博物館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 議 事
4 閉 会

| 番 号 | 議 題 | 結 果 |
|-------|---------------------------|-----|
| 議第18号 | 中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について | 承 認 |

【開 会】

【議 事】

【委員長】議事に入ります。日程第1、議第18号 中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について、幼児教育課長、お願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】この件につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。

ご意見、ご質問がないようです。第3子以降が無償化になるという少子化対策の一つですね。

それでは、続いて生涯学習スポーツ課長、お願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】これにつきまして、ご意見、ご質問はありませんか。松田委員。

【松田委員】この条例の市民への周知は、どういうふうにされますか。

【生ス課長】この条例が議決された際には、広報、ホームページで市の取り組みとして皆さんで共有していただきたいと表現していきたいと考えています。

【松田委員】広報、ホームページでは、若干ピーアールが薄いという気がします。たとえば、市内の本屋さんでお客様の目の届くところに、こういった市の取り組みを掲げるとか、あるいは、図書館や本屋さんに、条例が制定される月日を知らせてもいいのかなど。それで、この日は市民挙げて本を読もうというようなイベント的なものを少し考えてもいいのかなと思います。いかがですか。

【生ス課長】貴重なご意見ありがとうございます。いろいろな方法があると思います。具体的には図書館と詰めて、具現化していきたいと考えています。

【委員長】11月10日が図書館祭りです。可決されていれば、そのときもピーアールができますね。

ほかにご意見、ご質問ございませんか。

私から伺います。2月に協議会でこの件を出してから8月までの期間、どういう紆余曲折がありましたか。あまりにも長いと思ひまして。原文化スポーツ部長。

【文ス部長】以前、協議会では図書館人づくり条例の案文を報告しました。3月議会での承認を目指しましたが、関係者の方々と相談する中で、条文の環境整理という文言はいろんな反響が出るという考え方や、人づくりについては図書館だけでないという考え方が出まして、もう少し内容を詰めていく必要があることになりました。6月議会の一般質問では、この条例について質問を受け、市としてこのような条例を設置してほしいという意見がありました。内容をもう一度精査して、図書環境づくり、人づくりを目指してきましたが、図書館問題があつて、どこの誰でも読書活動の推進が重要である認識が高まっているこの機を逃してはならないと、少し遅れましたが、9月議会でお知らせいただきました。条例の内容について紆余曲折もありましたが、当初の目的である理念はこの条例の中に生きています。

【委員長】非常に読みやすいというか、理解しやすい文面ですので、先ほど松田委員からもご指摘がありましたように、周知徹底して、中津川市民が読書に関して進んでいけるように、後のフォローもお願いしたいと思います。

ほかにご意見ご質問はいかがでしょうか。小幡委員。

【小幡委員】中津川市が、他に先駆け非常に高い基本理念に基づいて作っていく条例ということです。中津川市の独自色が出せる条例ができるということで大変有り難く思っています。あとは、着実に具体的に推進計画とか実施計画が進んでいくことを願います。

【委員長】ほかにご意見、ご質問はございませんか。

ないようですので、それでは3つ目に移ります。教育企画課長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】これにつきまして、ご意見、ご質問はありませんか。横井委員。

【横井委員】歳出で、保育園と幼稚園の遊具を点検した結果、修繕する予算を立てていますが、今、点検はどんな頻度でどんな形でやっていますか。

【幼教課長】年1回実施しています。遊具専門の点検業者に委託しています。

【委員長】保育士等处遇改善臨時特例事業は、保育士に対しての報酬などの話でした。これは継続ですか。単発ですか。

【幼教課長】事業要領がありまして、単年度ごとに更新されていきます。今年度は1年となっています。来年度、継続される可能性もありますが、とりあえず単年度事業です。

【委員長】今まで学童保育所については、加子母、蛭川、阿木などではおじいちゃん、おばあちゃんがいるから、そう重視されていなかった部分もありました。時代が進むにつれて、阿木では子ども達が公民館に、蛭川は済美図書館に集まっています。正式な学童保育所ではないのに、そこに集まらざるを得ない状況になっています。加子母では小学校を使っています。時代が変わり、学童保育所に待機児童、という言葉聞くようになってきました。お母さん方にしっかり働いてもらって経済参加してもらうためにも必要なことになってきました。市でも、この寄付がきっかけかもしれません、優先順位をつけて耐震などに重きを置き始めたということで理解してよろしいですか。子育て政策室長。

【子政室長】少しずつですが、年々登録児童数も増えています。おじいちゃん、おばあちゃんがいるという地域であっても、加子母でも、昨年までは夏休み、冬休みという長期休みだけという季節学童だったものが、今年度からは年間を通じての学童保育所ということで、小規模ですが、加子母公民館を借りて通年で4月から始めました。そういった形で少しずつですが需要が伸びておりますので、支援が必要だと考えています。

【委員長】ほかにご意見、ご質問はありませんか。松田委員。

【松田委員】今回ご寄付をいただいているのが非常に多いのですが、寄付をもっと出しやすい環境ができるといいと思います。市に対する貢献というより、たとえば読書の日に合わせて図書の寄付とか、発達支援とか学童とか関心のあることに、市で目的別の義援金ボックスを作って、賛同していただける事業所などに置いてもらうのもいいと思います。市はお金がないからこういうことをやるのかと思われるかもしれませんが、関心のある方がお金を出しやすい環境やピーアールをもっとしていくといいと思います。うちの斎場も東北の震災について置いています。斎場ではお金を出し入れする場面がほとんどないですが、それでもいくばくかは入っています。そう考えると、お金の出し入れがあるところで、お釣りとかいただけるのであれば一番いい。前向きにやってくくださる企業、YKPの可児さんは本当にそうですが、関心の高い方はいると思います。なかなか出そうというところまでは踏み切れない方々が、出しやすい環境を考えてもらえるといいと思います。

【委員長】何かしたいけどどうしたらいいのかという方とたまにお目にかかります。また、そういうことは市がやるという考え方の方がたくさんおられると思いますが、自分として何かしたいけどどうしたらいいのか、何をしたらいいのかという考え方の方も確かにおられますので、出しやすい環境というのも、出してくださった方にありがとうという気持ちを示すことも大事かと思えます。

ほかにご意見、ご質問はありませんか。

ないようですので、日程第1、議第18号は承認とさせていただきます。

議事は以上です。次回は9月18日水曜日午後9時30分から、にぎわいプラザ4-1会場にて開催します。

これをもちまして、平成25年第9回中津川市教育委員会を閉会とさせていただきます。

【閉 会】